

平成 21 年 11 月 19 日

社会保障審議会医療部会
部会長 齋藤 英彦殿

社会保障審議会医療部会
委員 海辺陽子
(NPO 法人がんと共に生きる会 副理事長)

平成 22 年度診療報酬改定の『視点等』と『方向』について

『平成 22 年度診療報酬改定の「視点等」と「方向」』について、以下の通り意見を提出いたします。

○ 「(1) 充実が求められる領域を適切に評価していく視点」への「がん医療の推進」の追加

2007 年に「がん対策基本法」が施行され、同時に「がん対策推進協議会」が設置され、「がん対策推進基本計画」が策定されたが、財政の裏付けが乏しく、がん対策やがんの医療を推進するための診療報酬上の措置も、不十分であると言わざるを得ない。

第 9 回社会保障審議会医療部会において私が提出した「社会保障審議会医療部会のあり方について」には

「基本方針でとりあげられる各論には、関係する他の評議会や審議会などで検討された内容や提案が盛り込まれあるいは吟味されているかどうかは明らかではなく、その透明性を改善する必要がある。」

と記述し改善を求めたが、現時点で少なくとも「がん対策推進協議会」との整合性を図る措置が取られているとは言い難い。

よって、『平成 22 年度診療報酬改定の「視点」と「方向」』において、「(1) 充実が求められる領域を適切に評価していく視点に」「がん医療の推進」を加え、「がん対策推進協議会」での議論との整合性を図るべきである。

以上